

授業科目 (英名)	医療社会学 (Medical Sociology)			科目コード	NN101308Jキ
				科目責任者	井上 ひとみ

1単位	選択	講義	15時間	3学年 5セメスター 基礎科目	
-----	----	----	------	-----------------	--

[授業の概要]

医療社会学は、社会医学(社会現象が人の健康に及ぼす影響などを医学モデルから研究する公衆衛生学等)とは異なり、社会文化的な視点から、医療、医療組織、医療専門職、健康にまつわる現象などを研究する。講義では、医療に関する現象を俯瞰的に考える視角を提供し、演習では、多様な視点で考え、討議を深める。

[授業の目的]

- 1.医療が社会全体の中でどのような役割や機能を果たしているかを理解する。
 - 2.社会的側面からみた医療や保健、健康、病気に関する問題を理解する。
- 以上により、「豊かな感性と倫理感」を養い「看護の質の向上」を目指す。

[到達目標]

- 1.社会全体の中で医療が果たしている役割や機能について述べる。
- 2.社会的側面からみた医療や保健、健康、病気に関する問題点について述べる。

回数	月	日	曜日	時限	授業計画	授業外学習		担当者
						事前学習・事後学習	時間	
1	6	15	月	3	【講義】①ガイダンス ②医療社会学とは何か 「保健医療と社会学」について ・アイスブレイク	事後学習:一般の生活者の健康への関心について調べる。(例:健康オタク、ダイエット等)	30分	井上 ひとみ
2	6	15	月	4	【講義・演習】①人々にとっての健康、健康への関心、健康ブームとその意味について討議する。 ②健康・病の意味(病気・疾病・疾患・病)	事後学習:健康指向と社会について、自分の考えをまとめて、提出する。(A4、1枚程度)	30分	
5	6	22	月	3	【講義・演習】逸脱の医療化 病院(収容所としての病院/経営組織としての病院) ・アイスブレイク	事前学習:教科書第10章を精読して授業に出る(疑問なところ、気が付いたことを発表するので、箇条書き等を持参する)	30分	
7	6	22	月	4	【講義・演習】保健医療システムの変容 ・現代の変容 ・我が国の医療システムの特徴 ・アイスブレイク	事前学習:討議したい「医療や健康に関する」記事(ニュース等)を探し、プリントまたは、LMSに提出する。	30分	
6	6	29	月	3	【講義・演習】『看護婦はどう見られてきたか』 看護における神話・母性主義をふまえて、改めて、ナイチンゲールを読み取る。	事後学習:『看護とジェンダー』についてレポートを提出する(400字程度)。	30分	
3	6	29	月	4	【講義・演習】死の社会学 ①死の気つき 死のタブー視 「病院で作られる死」 「死のアウェアネス理論と看護」 ②医療化について討議 ③患者・医療者関係とコミュニケーション ④感情労働(教科書p251コラム) ・アイスブレイク	事前学習:教科書第1章(p10-16)読んで、興味を持ったことを1つ質問する準備をしておく。めくる。	30分	
4	7	6	月	3	【講義・演習】『死の社会学』② ・最後のレッスンの視聴(キューブラー・ロス) ・「死とは何か」について、討議する。	事後学習:「人間にとって死とは何か」(「晩年のキューブラー・ロス」の視聴や医療以外の側面も含めて)、レポートを作成し、提出する。(800字以上)	30分	
8	7	6	月	4	【演習】①討議 各自が選んできた「医療に関するトピック(ニュース)」を提示し、テーマを決め、討議する。 ②まとめ	事後課題:レポートを提出する。テーマは各自で考え、1200字程度にまとめる。レポート提出の作法に則り、引用・参考文献も漏れなく、記述する。提出期限:7月6日(4現終了時)	30分	

[成績評価と基準]

授業参加度(授業内で課題を精読し、ディスカッションで発言する)30%、時間内の課題20%、レポート50%により評価する。
グループ討議、課題・レポートは、既習の作法で行った結果を評価する。(ルーブリック参照)
なお、本科目においては、成績再評価は実施しない。

[履修上の注意]

LMS(学習・授業支援システム)に、課題や資料を提示するので、事前に確認し、ipad等(又は、印刷)で閲覧する(配布はしない)。

[教科書]

社会学 石川ひろの他 医学書院(電子教科書のみ)

[参考書・参考資料]

- ①ナースのための社会学入門 勝又正直 医学書院
- ②医療神話の社会学 佐藤純一、黒田浩一郎編 世界思想社
- ③パーソンズ 医療社会学の構想 高城和義 岩波書店
- ④スティグマの社会学-烙印を押されたアイデンティティ E. ゴッフマン せりか書房

- ⑤死のアウェアネス理論と看護 バーニー・グレーサー、アンセルム L. ストラウス 医学書院
- ⑥病院でつくられる死-「死」と「死につつまること」の社会学 デヴィット・サドナウ セリカ書房
- ⑦逸脱と医療化-悪から病いへ-P. コンラット/J.W. シュナイダー ミネルヴァ書房
- ⑧ケアの社会学 上野千鶴子 太田出版
- ⑨看護職の社会学 佐藤典子 専修大学出版
- ⑩看護婦はどう見られてきたか アン・ハドソン・ジョーンズ 時空出版

[質問への対応(オフィスアワー・E-mail)]

E-mail:hitomi-i@dokkyomed.ac.jp(メールにて随時受け付ける)
オフィスアワー:金曜日12時10分から13時 研究室 学部棟4階21番

[備考]

- ・講義資料は、ガイダンス時に配布、および、事前にLMSに掲載し、学生の学修状況を確認する。
- ・インターネット等を用いた講義教材を活用する。
- ・演習時は、与えられた課題に基づいて小グループでディスカッションを行い、各々の意見を発表し合う。
- ・講義内でLMS等を用いて学生の理解度を確認し、補足説明をする。
- ・LMSに挙げられた質問について、講義・LMSなどで回答・解説する。
- ・レポート等の成績評価の結果は、「授業評価に対する回答」の中で講評しフィードバックする。